



令和 7 年 10 月 18 日

本学の三浦 道子 名誉教授が 令和 7 年度の文化功労者に選ばれました

半導体分野の先駆者として顕著な功績を残した本学の三浦道子名誉教授が、2025（令和 7）年度の文化功労者に選ばれました。文化功労者は、文化の向上発達に関し特に功績顕著な方々を顕彰する制度です。

三浦名誉教授はトランジスタの高精度シミュレーション理論の確立とその世界標準化に多大な貢献をされました。2009（平成 21）年には科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）、2012（平成 24）年には紫綬褒章を受章されています。

越智光夫学長は「三浦先生は広島大学理学部を卒業、大学院理学研究科を修了され、本学で永く活躍されてきました。先生の長年にわたるご功績が高く評価されたものと存じます。広島大学といたしましても大変名誉なことと受け止めています」とコメントしています。

本学関係者が文化功労者に選ばれたのは、初代学長を務めた森戸辰男氏（昭和 46 年）、角筆研究の第一人者である小林芳規氏（令和元年）に次いで 3 人目です。

【お問い合わせ先】

広島大学財務・総務室総務・広報部広報グループ
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4 版 1 枚（本票含む）